

男女共同参画に関するアンケート調査項目比較表

資料4-2

(今回)R2年度 男女共同参画に関するアンケート						(前回)H27年度男女共同参画に関する県民意識・実態調査					
項目(案)		前回との相違点・委員意見を踏まえた変更	経年変化	成果指標	項目						
フェイスシート	F1	性別	「3どちらともいえない または 答えたくない」を追加		フェイスシート	F1	性別				
	F2	年齢	10歳代を追加			F2	年齢				
	F3	居住地域				F3	居住地域				
	F4	職業				F4	職業				
	F5	既婚、未婚の別				F5	既婚、未婚の別				
	F6	子どもの有無および子どもの人数				F6	子どもの有無および子どもの人数				
	F7	子どもがいる場合の子どもの年齢層				F7	子どもがいる場合の子どもの年齢層				
男女の地位	問1	男女の地位は平等になっていると思うか。(家庭・学校・職場・地域・社会全体)		○	男女の地位・男女	問1	男女の地位は平等になっていると思うか。(家庭・学校・職場・地域・社会全体)				
	問2	家庭において家事等や最終決定を主に担当しているのはだれか。(掃除、洗濯、食事のしたく、財産の管理等)	選択肢中の「自分」「配偶者」を「夫」「妻」に変更			問2	家庭において家事等や最終決定を主に担当しているのはだれか。(掃除、洗濯、食事のしたく、財産の管理等)				
	問3	家事、育児、介護に費やす平均時間は。	性別に「どちらともいえない または 答えたくない」を追加したことに伴う変更	○		問3	家事、育児、介護に費やす平均時間は。				
	問4	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成か反対か。		○		問4	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成か反対か。				
生活の調和(仕事と)	問5	仕事と生活の調和において、男性・女性のそれぞれについて望ましい形は。また、現在の状況は。	前回調査の問6(1)～(3)をまとめて質問		仕事と家庭・社会活動とそ のバランスについて	問5	女性が職業をもつことについてどう考えるか。				
	問6	家庭の外で(仕事以外に)活動しているか。				問6(1)	仕事との関係で、家庭・地域生活をどう位置づけるか(女性)				
	問6-1	活動したいのに活動していない理由は。				問6(2)	仕事との関係で、家庭・地域生活をどう位置づけるか(男性)				
	問7	男性が家事、育児、介護等に積極的に参加するために必要なことは。	内閣府調査により傾向がつかめるため削除			問6(3)	仕事との関係で、家庭・地域生活を位置づけているか。(現状)				
女性の活躍推進について	問7	女性が職業をもつことについてどう考えるか。	枝問7-1、7-2、7-3を設定	○	女性の活躍推進に	問7	男性が家事、育児、介護等に積極的に参加するために必要なことは。				
	問7-1	「女性は職業を持たない方がよい」、「結婚するまでは職業をもつ方がよい」、「子どもができるまでは職業をもつ方がよい」、と答えた理由は。				問8	家庭の外で(仕事以外に)活動しているか。				
	問7-2	「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」、「子どもができて、ずっと働き続ける方がよい」と答えた理由は。				問9	活動したいのに活動していない理由は。				
	問7-3	「子どもができたら職業をやめ、子育てが落ち着いたら再び職業をもつ方がよい」と答えた人に、仕事と子育ての両立がしやすい環境にあった場合、どう考えるか。				問10	現在の職場の男女平等感。(採用、給与、管理職への登用等について)				
	問8	現在の職場で昇進したいと思うか。	委員のご意見を踏まえて新設。			問11	行政や企業はどんな方法で女性の活躍を促進したらよいか。				
	問8-1	給与や残業時間が希望に合うなどの場合、昇進したいと思うか。	委員のご意見を踏まえて新設。			問12	男女共に家庭生活と仕事など他の活動を両立するのに必要な環境整備は。				
	問9	現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思うか。				問13	今後女性がもっと増える方がよいと思う職業や役職は。				
	問9-1	現在の社会は女性が働きやすい状況にあると思わない理由は。				問14	政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何か。				
	問10	働く場において女性がさらに活躍するために何が必要だと思うか。	選択肢に「女性自身の意欲向上・意識改革を図ること」を追加			問15(1)	男女共同参画社会、DV等の言葉を知っているか。				
	問11	女性の意見がもっと反映されるように、自治体の首長や議会議員、企業の管理者、自治会やPTAの会長など、政策の企画立案や方針決定の場に女性がもっと増えるほうがよいと思うか。			問15(2)	「男女共同参画社会」という言葉のイメージは。					
	問11-1	企画立案や方針決定の場に女性の参画が少ない原因は何だと思うか。			問16	男女共同参画社会実現のために重要な県の施策は。					
	問11-2	企画立案や方針決定の場にもっと女性が参画するために何が必要か。	委員のご意見を踏まえて新設。		人権について	問17	女性の人権が尊重されていないと感じることはどのようなことか。				
	問12	県内に女性が定着し、活躍するために必要なことは何か。	選択肢に「活躍している女性のネットワーク構築」を追加			問18	夫婦間の行為で暴力だと思うものは。(怒鳴る、殴る等)				
	問13	今後女性がもっと増える方がよいと思う職業や役職はどれか。	内閣府調査により傾向がつかめるため削除			問19	配偶者から暴力を受けたことがあるか。				
に参男 向画女 け社共 て会同	問13	男女共同参画社会、DV等の言葉を知っているか。	選択肢に女性活躍推進法、候補者男女均等法、やまなし性暴力被害者サポートセンターを追加	○	DVについて	問20	暴力により命の危険を感じたことはあるか。				
	問14	男女共同参画社会実現のために重要な県の施策は。				問21	暴力を受けるときに子どもはそれを目撃していたか。				
人権・DVに ついて	問15	男女間において人権が尊重されていないと感じるのどのようなことか。	女性の人権だけではなく男女の人権について質問			問22	子どもにも同じような行為をしたことがあるか。				
	問16	夫婦間の行為で暴力だと思うものは。(怒鳴る、殴る等)	選択肢に「必要な生活費を渡さない」、「交友関係や実家との付き合いを遮断する」を追加	○		問23	配偶者からの行為を誰かに相談したか。				
	問17	配偶者から暴力を受けたことがあるか。		○		問24	配偶者からの行為を相談しなかった理由は。				
	問17-1	暴力により命の危険を感じたことはあるか。			問25	男女間の暴力防止に必要なことは何か。					
	問17-2	暴力を受けるときに子どもはそれを目撃していたか。			自由記述	問26	(自由記述)男女ともに生き生きと暮らしていく社会実現のために日頃考えていることは。				
	問17-3	相手は子どもにも同じような行為をしたことがあるか。									
	問17-4	配偶者からの行為を誰かに相談したか。		○							
	問17-5	相談しなかった理由は。									
	問18	夫婦間や恋人間の暴力防止に必要なことは何か。	「男女間の暴力防止」を「夫婦間や恋人間の暴力防止」に修正								
自由記述	問19	(自由記述)男女ともに生き生きと暮らしていく社会実現のために日頃考えていることは。									

39問(枝問・フェイスシートを含む)

- 新規に設定する項目
- 一部変更する項目
- 削除する項目
- 赤字 委員意見を踏まえた追加・変更・削除

36問(枝問・フェイスシート含む)